

浅口市新型コロナウイルス感染症等に関する
アンケート調査報告書（概要版）

I 調査の概要

1. 調査の目的

浅口市では、新型コロナウイルス感染症対策として、市独自の商品券・応援券の発行、事業継続支援金の給付など様々な取り組みを行ってまいりました。本アンケートは、市民の皆様の意見を把握し、今後の施策や総合計画等に反映させることを目的に実施しました。

2. 実施概要

調査	対象	実施時期・調査方法	回収数
新型コロナウイルス感染症等に関するアンケート調査	18歳以上の市民 1,000人	令和3年1月28日～ 2月8日実施 郵送による配布・回収 ※Webでの回答も可	回収数:552人 回収率:55.2%
浅口市の未来を担う中学生アンケート調査	市立中学の2年生 248人	令和3年2月上旬～ 2月12日実施 学校で配布・回収 ※Webでの回答も可	回収数:209人 回収率:84.2%

3. 調査結果の見方

◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

SA=単数回答:「1つに○」等、選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答:「あてはまるものすべてに○」等、2つ以上の選択肢を選ぶ質問形態

◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方(回答対象者)の人数を示しています。

◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反(例えば、単数回答の設問における複数回答等)の件数を示しています。

◇ グラフには、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。

◇ 集計は、小数点第2位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

II 調査結果のまとめ

後期基本計画において検討すべき課題等を、総合計画の基本目標の枠組みごとに整理します。

1 地域資源の活用と新たなビジネスの展開による産業力の強化

1. 農林業、商業

★外食が規制され、地場産品を扱うイベントが縮小する中で、商業、農林業等への影響は大きく、ウィズコロナを踏まえた販売ルートの確保等、多様な支援が求められる

- 緊急事態宣言発令前と比較した収入の増減について、職業が”（農林業を含む）自営業”で「大幅に減少した」が35.4%【市民（問5）】
- 市の31施策の中の満足度は、「楽しさとにぎわいを創出する商業の振興」が2番目に、「多様な地域資源を活かした農林漁業の振興」が10番目に低い【市民（問16）】

2. 6次産業化や起業支援

★テレワークはコロナへの対策はもちろん、働き方改革としても重要

- 日常生活で実践する感染予防対策について「テレワークやオンライン授業を選択する」の割合が4.2%【市民（問3）】
- 市の31施策の中の満足度は「6次産業化や起業支援などによる新たな活力の創出」が5番目に低い【市民（問16）】

2 新たな観光展開と移住・定住の促進

1. 移住・定住対策の促進

★若い世代のUターンや定住に向けたつながりづくり、「ふるさと」を思う気持ちの醸成等が求められる

- 市の31施策の中の満足度は「移住・定住の促進」が4番目に低い【市民（問16）】
- 大人になったら、浅口市で何をしたいかは「ほかのまちに住み、時々遊びに来る」が46.9%【中学生（問7）】

3 だれもが健やかに暮らし支え合う地域づくり

1. 健康づくり

★「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」は厚労省が推奨するアプリであり、全国のダウンロード数は約3,000万件という中で、さらなる利用促進が必要

○日常生活で実践する感染予防対策について「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を利用している」の割合が8.0%【市民(問3)】

★交流の機会の減少は、身体だけでなく精神的な健康にも影響を及ぼすと考えられる中で、高齢者等を中心にウィズコロナを踏まえた交流等の機会づくりが必要

○緊急事態宣言発令前と比較した外出頻度で「友人・知人と会う」は76.3%、「余暇活動」は57.2%が”減少した”と回答【市民(問4)】

○コロナ禍で困ったこと・困っていることは「交流の機会減」が45.8%【市民(問6-1)】

○市の31施策の中の重要度は「みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実」が最も高い【市民(問16)】

2. 地域福祉の充実

★コロナを一つの契機ととらえ、地域共生社会に向けた支え合いを進める視点も重要

○社会とのつながり(交流や助け合い・支え合い)の重要性に関する意識への影響について、「より意識するようになった」が35.5%【市民(問9)】

○コロナの影響が継続した場合に不安に思うことで「地域活動の停滞」が35.1%【市民(問13)】

3. 子育て支援の充実

★ウィズコロナを踏まえた健康づくりに関する支援とともに、経済的な支援等も検討が求められる

○高校生以下の子どもがいる家庭でコロナ禍で困ったこと・困っていることは「子どもの心身の健康管理」が33.0%で最も高く、「家庭の支出の増加」が32.1%【市民(問6-2)】

○市の31施策の中の重要度は「安心して産み育てることができる子育て支援の充実」が6番目に高い【市民(問16)】

4 夢を育む教育と地域文化の振興

1. 教育の充実 **★ウイズコロナを踏まえた教育環境の整備は、学生の不安解消の視点からも重要**
- 市の31施策の中の重要度は「幼児教育・学校教育の充実」が8番目に高い【市民(問16)】
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大で、困っていること・不安なことは「進級や進学・就職のこと」が28.2%【中学生(問9)】
2. スポーツ活動の振興 **★スポーツの振興だけでなく、市民の心身両面の健康にも関わる中で、コロナ禍の中でも運動・スポーツに取り組める環境の検討が必要**
- 2020年4月の緊急事態宣言発令前と比較した外出頻度で「運動・スポーツ」について44.2%が”減少した”と回答【市民(問4)】
 - 高校生以下の子どもがいる家庭でコロナ禍で困ったこと・困っていることは「子どもの運動機会の確保」が31.1%【市民(問6-2)】
 - 新型コロナウイルス感染症の拡大で、困っていること・不安なことは「運動不足になってしまうこと」が31.1%【中学生(問9)】
3. 文化の振興 **★ウイズコロナを踏まえた文化・芸術に触れる機会づくり等の検討が必要**
- コロナの影響が継続した場合に不安に思うことで「文化芸術に触れる機会減」が33.9%【市民(問13)】

5 自然と共生した安心・安全なまちづくりの推進

1. 自然環境の 保全

★若い世代の「ふるさと」を思う気持ちの醸成、将来の定住につなげる視点からも、自然環境の保全は重要

○浅口市が好きな理由は「自然環境が豊かだから」の割合が3番目に高く、前回調査と比べても11.1ポイント増加【中学生(問5-A)】

○浅口市がどんなまちづくりを目指したらいいかは「自然と共生できる「自然豊かなまち」」が39.7%と最も高く、前回調査と比較しても9.8ポイント増加【中学生(問8)】

2. 防災対策の 推進

★西日本豪雨災害やコロナなどで、広く市民の災害に対する意識の高まりがうかがえる中で、「国土強靱化地域計画」等の推進や関連する取組の市民への周知等が重要

○市の31施策の中の重要度は「安全を確保する防災体制の整備」が3番目に高い【市民(問16)】

○市の31施策の中の重要度は「治山・治水などの防災対策の推進」が2番目に高い一方で、満足度は9番目に低い【市民(問16)】

○浅口市をもっとよくするために必要なことは「火事や地震などに対する備えを十分にし、安全なまちにすること」が49.8%【中学生(問4)】

3. 生活安全対策の 推進

★社会的な凶悪犯罪の発生や、市内の交通死亡事故(令和2年に2件)の発生などから、生活安全対策の意識の高まりがうかがえる中で、取組の充実が求められる

○市の31施策の中の重要度は「生活安全対策の推進」が4番目に高い【市民(問16)】

○浅口市をもっとよくするために必要なことは、「交通事故や犯罪が無い安心なまちにすること」が56.5%【中学生(問4)】

6 快適で利便性の高い都市・生活空間の整備

1. 住環境の 整備

★若い世代を含めた移住・定住を促進するためにも、住環境の整備は重要

○市の31施策の中の「ゆとりある住環境の整備」の重要度は他の施策と比べ相対的に高い一方で、満足度は最も低い【市民(問16)】

7 住民自治と協働の推進

1. 市民参画の 推進

★地域福祉の充実と同様にコロナを一つの契機ととらえ、市民参画を進める視点も重要

○<再掲>社会とのつながり(交流や助け合い・支え合い)の重要性に関する意識への影響について、「より意識するようになった」が35.5%【市民(問9)】

8 効果的・戦略的な行財政の運営

1. 効率的な行政機構の推進

★コロナ関連の市の支援情報等も含め、市政情報が幅広く届くように、情報発信の手法についても検討が必要

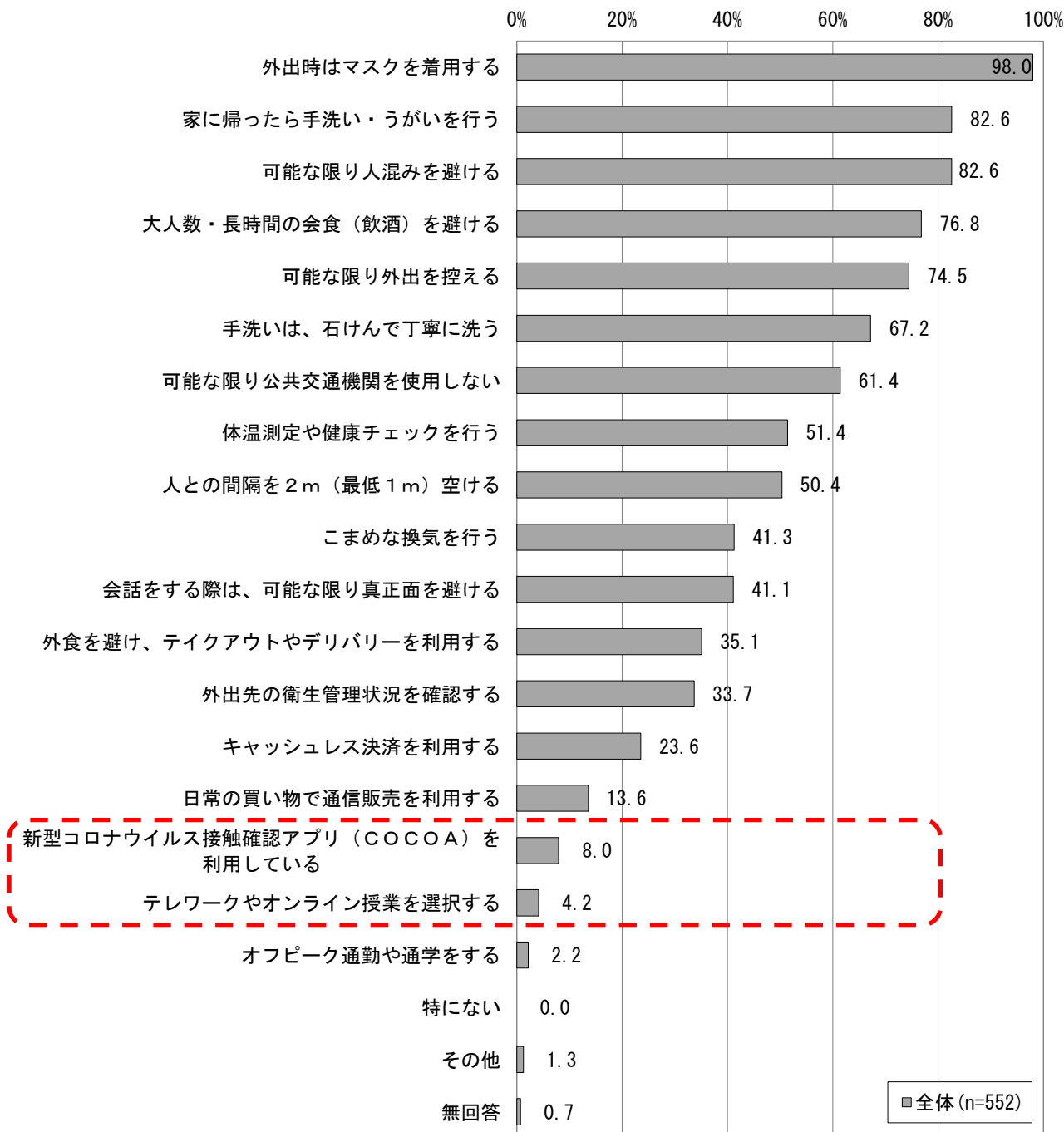
- コロナの感染状況や各種支援の情報の入手先について「広報あさくち」は31.9%、「浅口市のホームページ」は14.9%、「浅口市作成のチラシやポスター」は14.1%、「浅口市のSNS」は10.7%【市民(問14)】
- コロナ対策として浅口市に求める施策・取組は「積極的な情報発信」が61.2%と最も高い【市民(問15)】
- 市の31施策の中の重要度は「開かれた役所と効率的な行政機構の推進」が他の施策と比べ相対的に高い一方で、満足度は8番目に低い【市民(問16)】

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症等に関するアンケート調査結果概要

Ⅰ. コロナ禍における現在の日常生活について

Ⅰ（問3） 現在の日常生活において、実践している感染予防対策（MA）

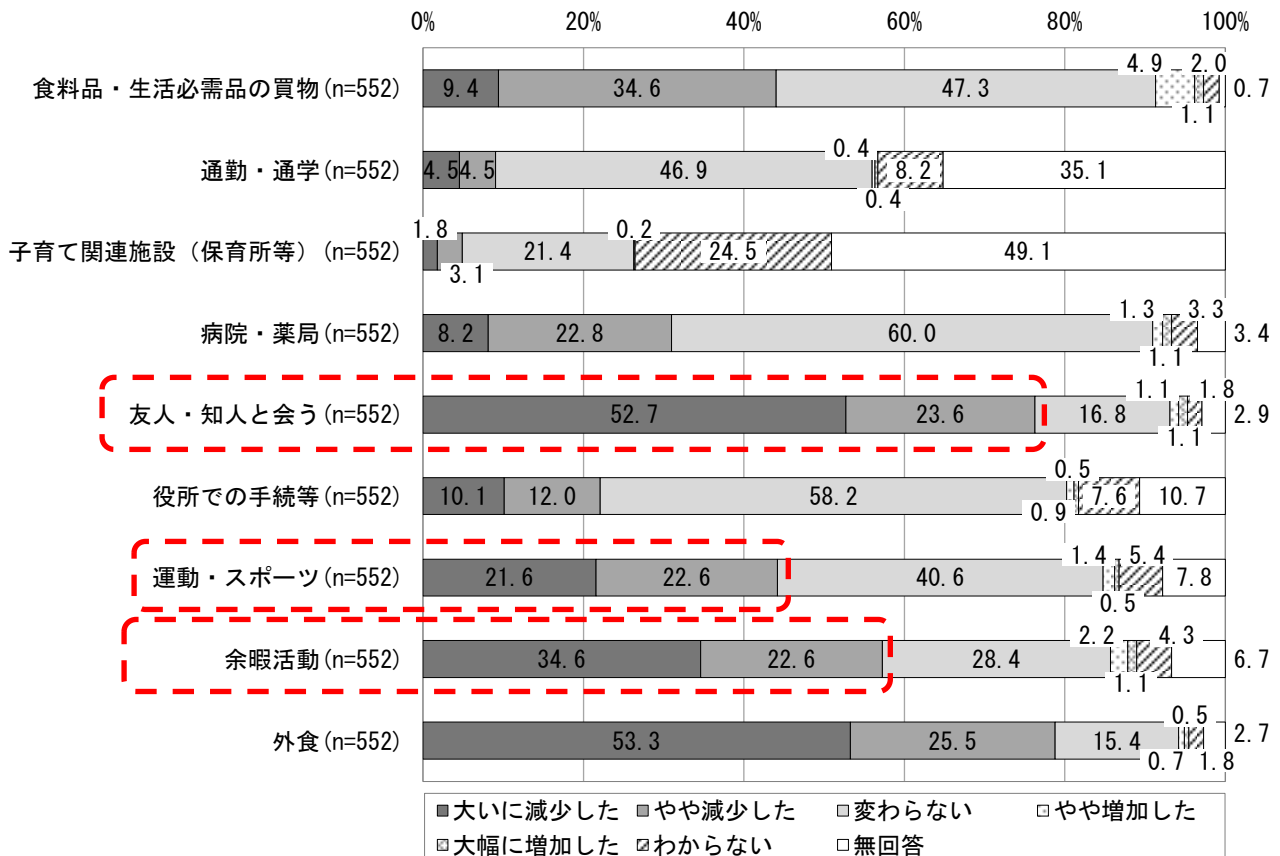
○全体では、「外出時はマスクを着用する」が 98.0%と最も高く、「家に帰ったら手洗い・うがいを行う」と「可能な限り人混みを避ける」がそれぞれ 82.6%、「大人数・長時間の会食（飲酒）を避ける」が 76.8%と続いています。



2 (問4) 現在の外出頻度 (2020年4月の緊急事態宣言発令前と比較) (SA)

○「大いに減少した」と「減少した」を合わせた『減少』の割合は、<食料品・生活必需品の買物>が44.0%、<通勤・通学>が9.0%、<子育て関連施設(保育所等)>が4.9%、<病院・薬局>が31.0%、<友人・知人と会う>が76.3%、<役所での手続等>が22.1%、<運動・スポーツ>が44.2%、<余暇活動>が57.2%、<外食>が78.8%となっています。

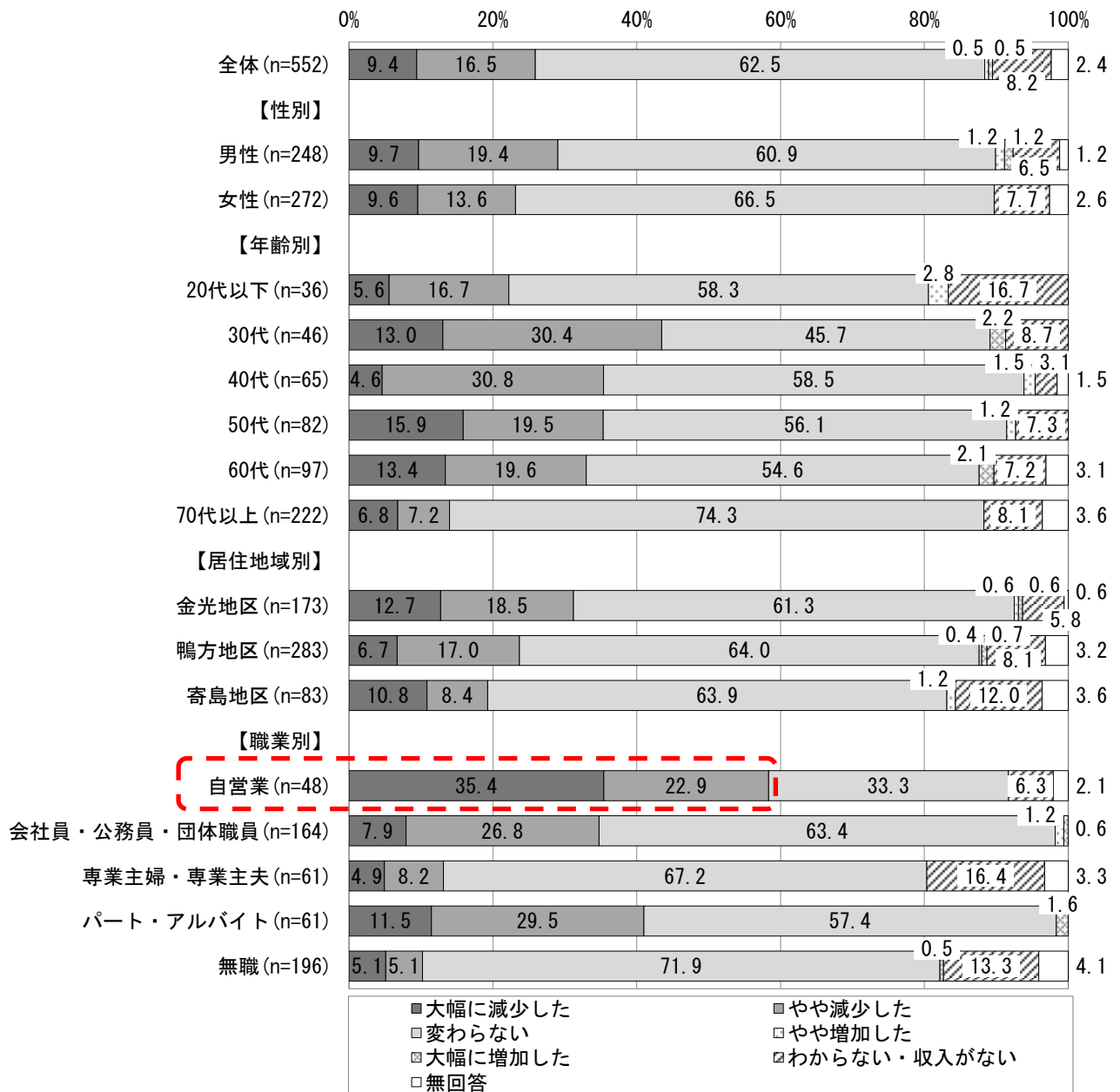
○「大いに減少した」の割合をみると、<外食>が53.3%と最も高く、<友人・知人と会う>が52.7%、<余暇活動>が34.6%、<運動・スポーツ>が21.6%と続いています。



2. コロナの影響（生活面）について

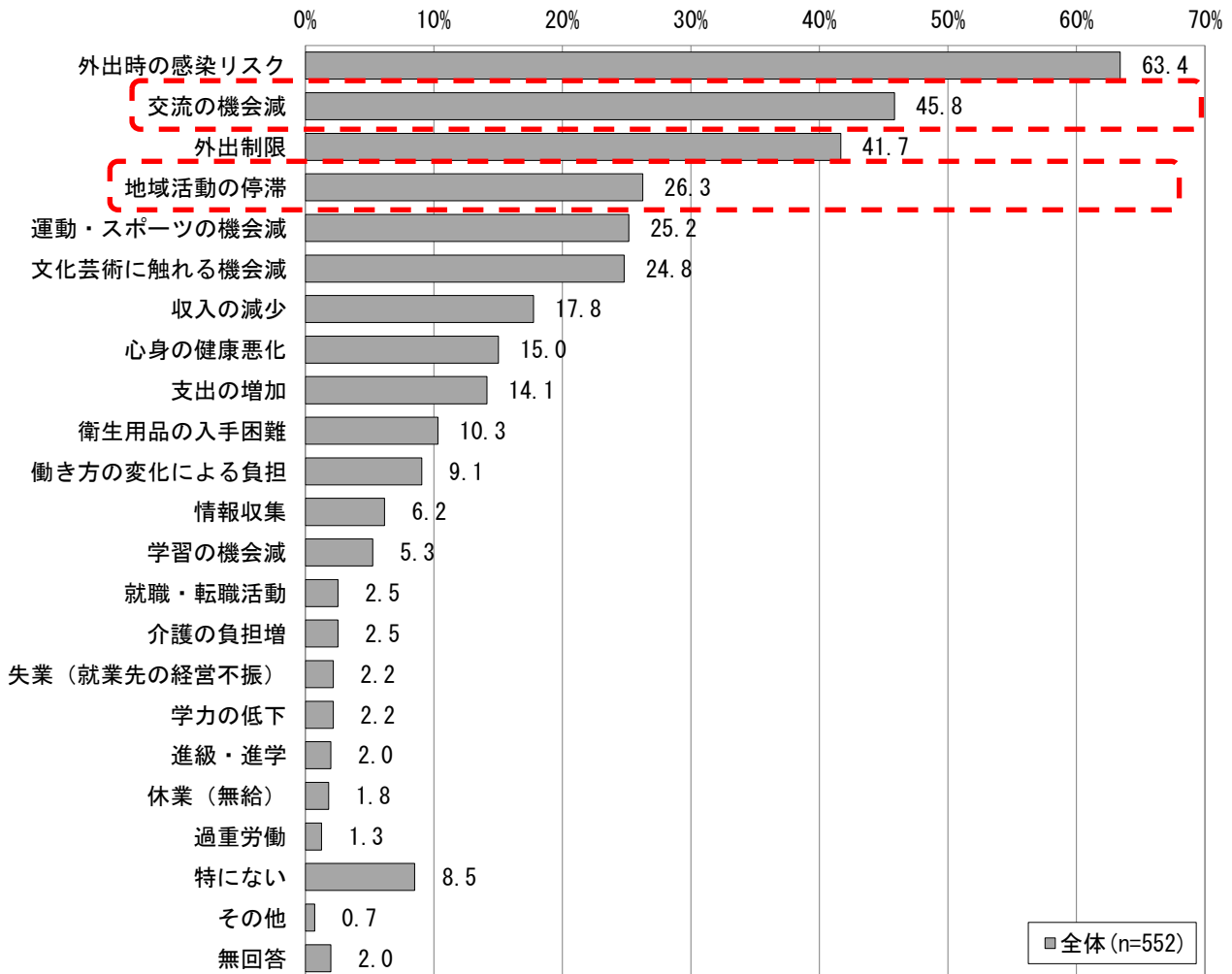
1（問5） 2020年4月の緊急事態宣言発令後、その前と比べて収入の増減（SA）

- 全体では、「大幅に減少した」が9.4%、「やや減少した」が16.5%、「変わらない」が62.5%、「やや増加した」が0.5%、「大幅に増加した」が0.5%、「わからない・収入がない」が8.2%となっています。また、「大幅に減少した」と「やや減少した」を合わせた『減少した』は25.9%と、約4人に1人は収入が減少しています。
- 年齢別では『減少した』は、30代が43.4%と、他の年代より高くなっています。
- 職業別では『減少した』は、自営業が58.3%と、他の職業より高くなっています。



2 (問6-1) 2020年4月の緊急事態宣言発令以降で、困ったこと・困っていること (MA)

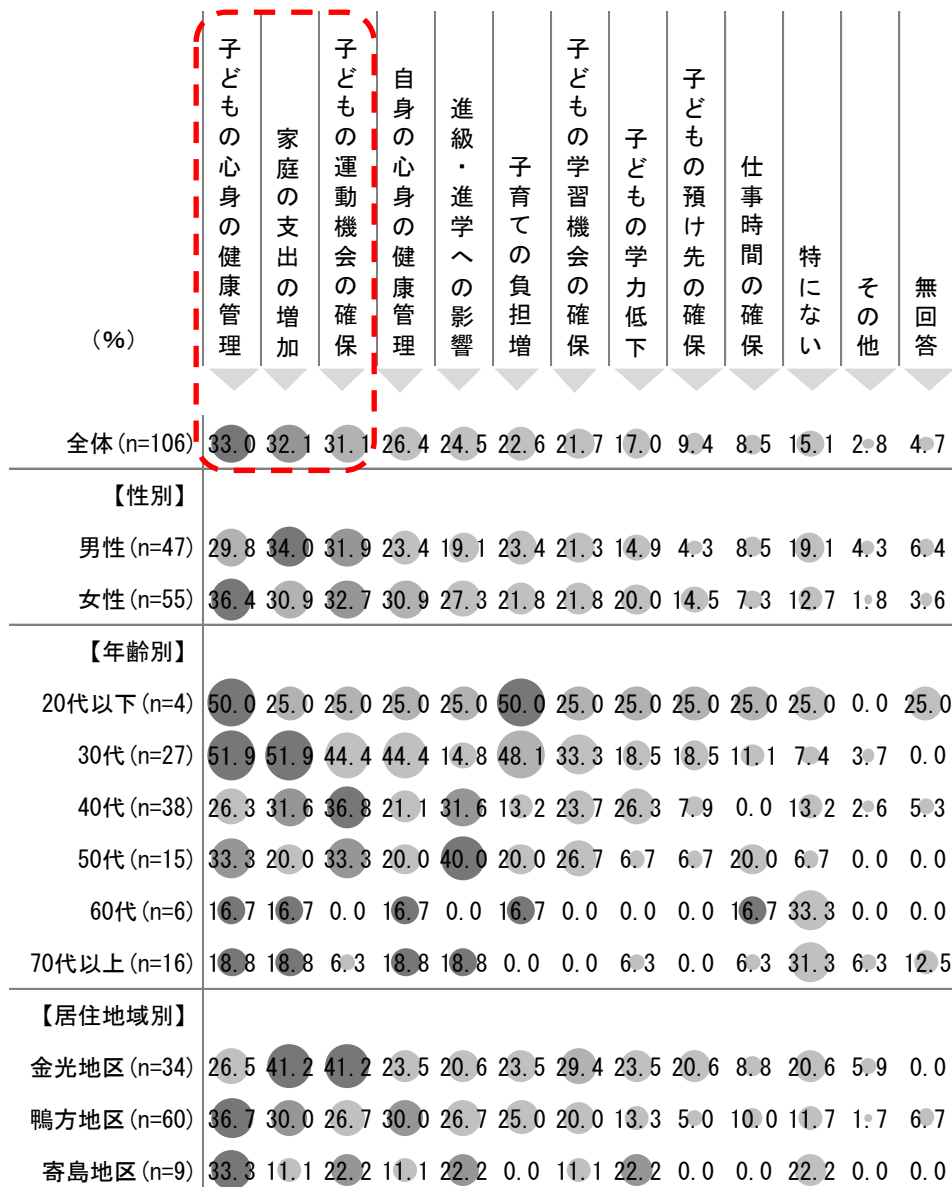
○全体では、「外出時の感染リスク」が63.4%と最も高く、「交流の機会減」が45.8%、「外出制限」が41.7%、「地域活動の停滞」が26.3%と続いています。



3 (問6-2) (高校生以下の子又は孫と同居されている方限定) 2020年4月の緊急事態宣言発令以降で、困ったこと・困っていること (MA)

○全体では、「子どもの心身の健康管理」が 33.0%と最も高く、「家庭の支出の増加」が 32.1%、「子どもの運動機会の確保」が 31.1%、「自身の心身の健康管理」が 26.4%と続いています。前ページでの「支出の増加」が 14.1%であったのに対し、本設問の「家庭の支出の増加」は3割以上と、子や孫と同居している人の支出がより増加していることがわかります。

○年齢別では、50代で「進級・進学への影響」(40.0%)が高くなっています。また、「子育ての負担増」は、年齢が下がるほど高くなる傾向にあり(一部年代を除く)、20代以下で 50.0%となっています。



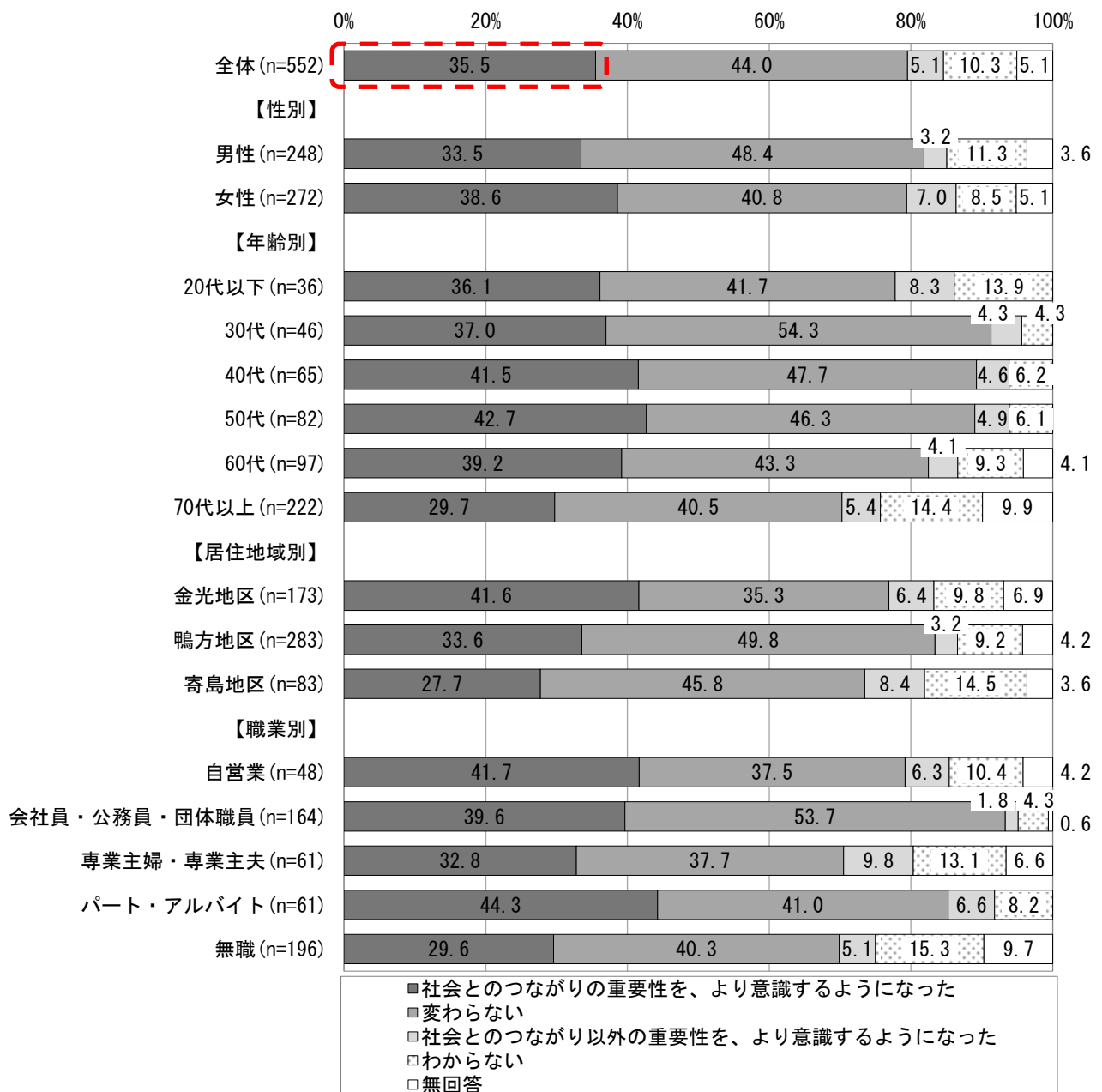
3. コロナの影響（意識面）について

1（問9） 社会とのつながりの重要性に関する意識に影響（SA）

○全体では、「社会とのつながりの重要性を、より意識するようになった」が 35.5%、「変わらない」が 44.0%、「社会とのつながり以外の重要性を、より意識するようになった」が 5.1%、「わからない」が 10.3%となっています。

○居住地域別では、金光地区で「社会とのつながりの重要性を、より意識するようになった」が 41.6%と他の地区より高くなっています。

○職業別では、パート・アルバイトで「社会とのつながりの重要性を、より意識するようになった」が 44.3%と他の職業より高くなっています。

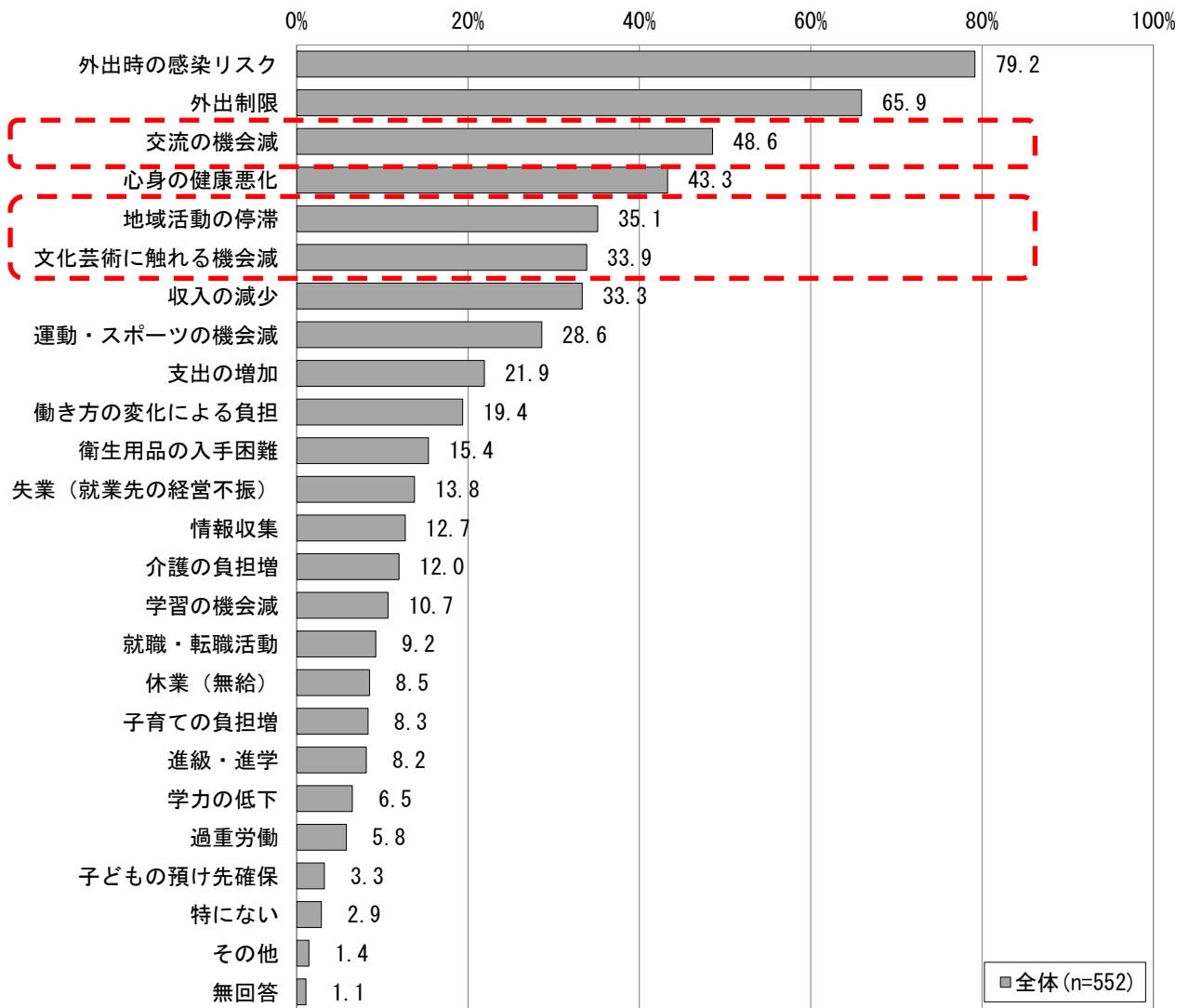


※ここでの「社会とのつながり」とは、地域コミュニティや学校・会社などを通じた他者との交流や助け合い・支え合いなどのことをいう

4. コロナ禍における今後の日常生活について

1 (問13) 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、不安に思うこと (SA)

○全体では、「外出時の感染リスク」が79.2%と最も高く、「外出制限」が65.9%、「交流の機会減」が48.6%、「心身の健康悪化」が43.3%と続いています。

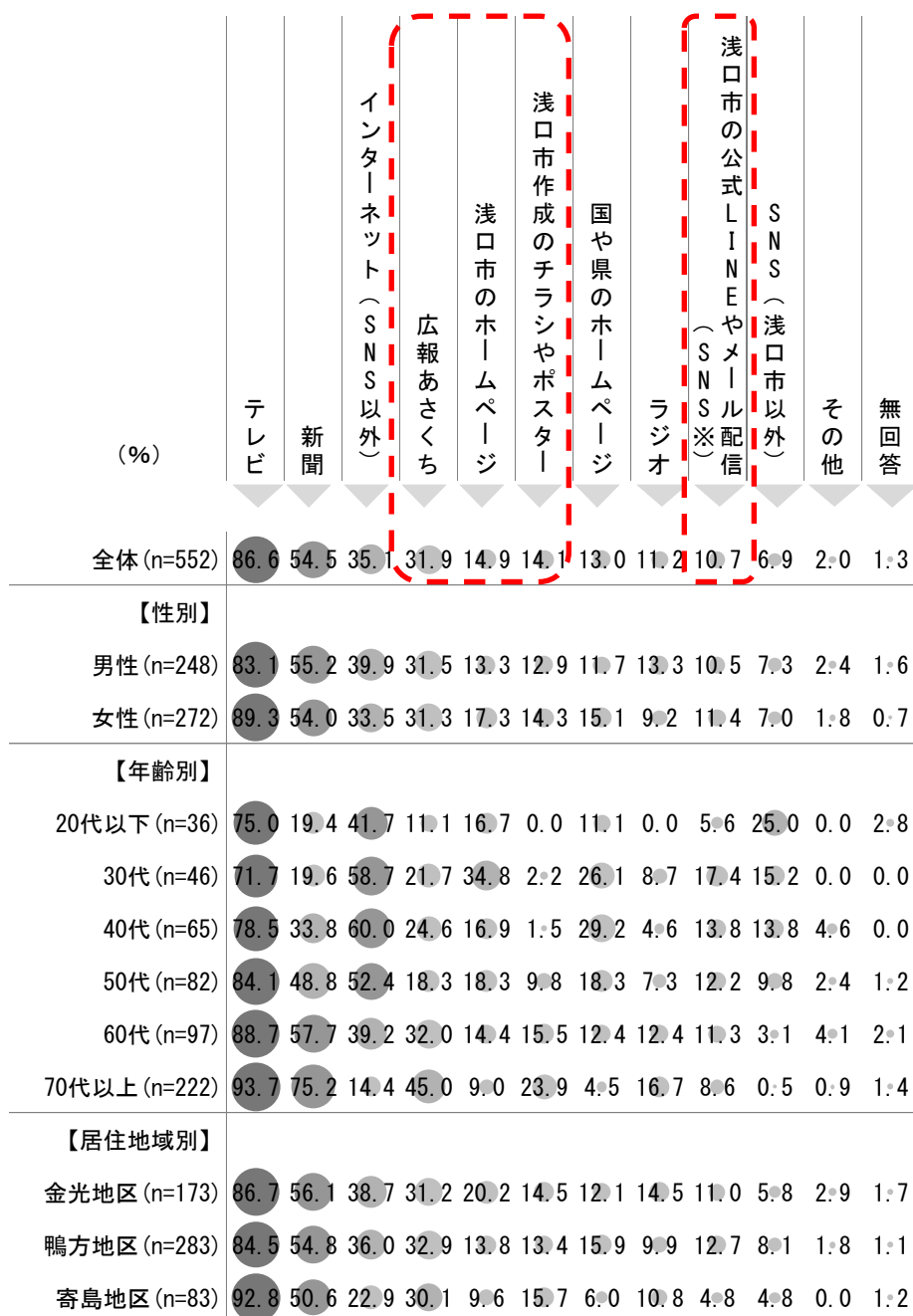


5. 行政に望む対策・取り組みについて

1 (問14) 国・県・市の各種経済支援策等についての情報を、どこから得ていたか (MA)

○全体では、「テレビ」が 86.6%と最も高く、「新聞」が 54.5%、「インターネット(SNS 以外)」が 35.1%、「広報あさくち」が 31.9%と続いています。

○年齢別では、「新聞」や「広報あさくち」は、年齢が上がるほど高くなる傾向(一部年代を除く)にある一方、「インターネット(SNS 以外)」や「SNS(浅口市以外)」は、年齢が下がるほど高くなる傾向にあります(一部年代を除く)。



2 (問 15) 新型コロナウイルス感染症対策として、浅口市に求める施策・取り組み (MA)

- 全体では、「積極的な情報発信」が 61.2%と最も高く、「家庭への経済支援」が 45.7%、「高齢者・障がい者(児)への支援」が 38.6%、「生活困窮者への支援」が 34.2%と続いています。
- 年齢別では、40代以下で「家庭への経済支援」が6割以上と高くなっています。また、「高齢者・障がい者(児)への支援」は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあります(一部年代を除く)。

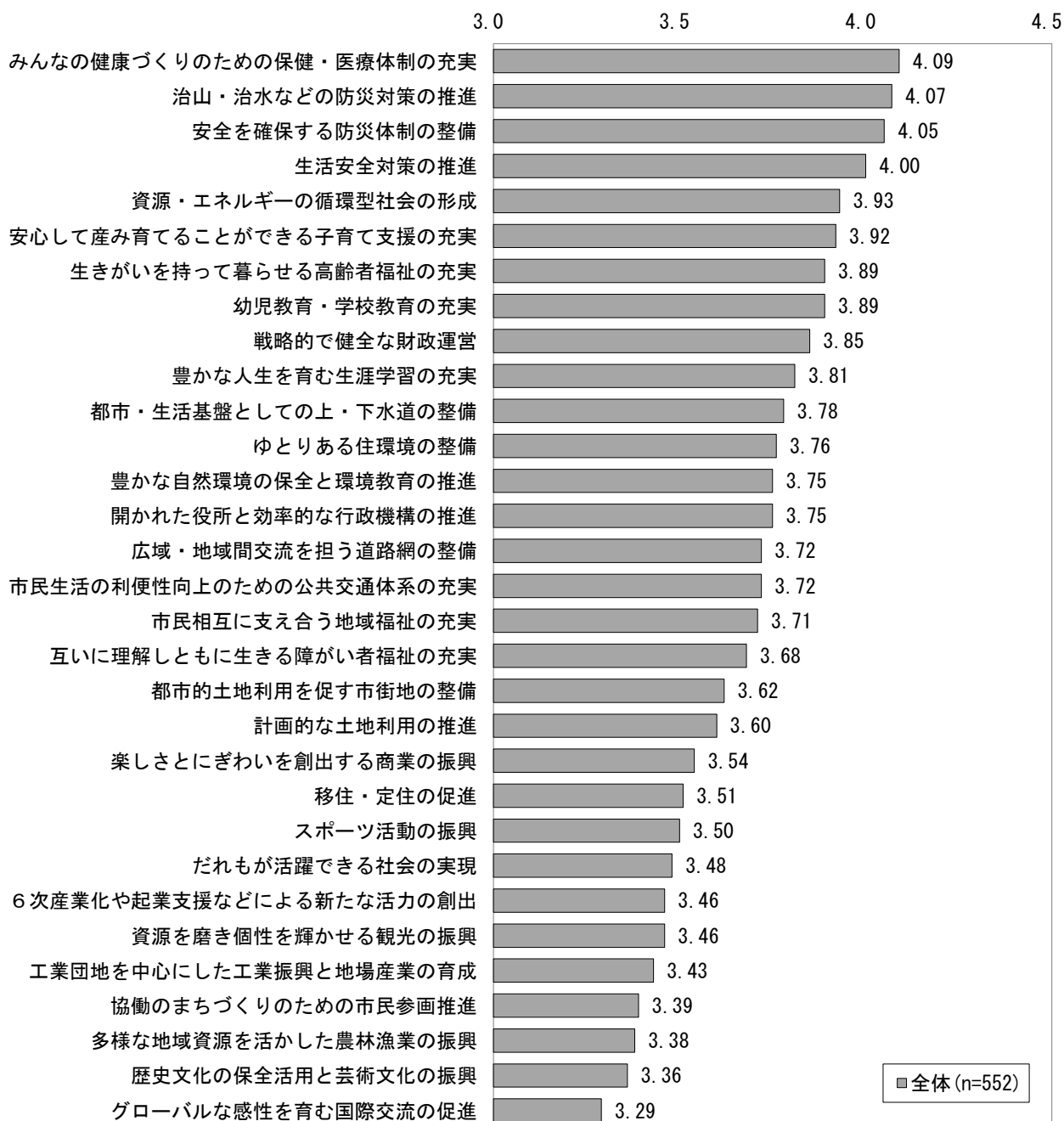
(%)	積極的な情報発信	家庭への経済支援	高齢者・障がい者(児)への支援	生活困窮者への支援	相談窓口の増設・強化	衛生用品の配布	中小企業等地域経済支援	ICT活用等の教育環境の整備	その他	無回答
全体 (n=552)	61.2	45.7	38.6	34.2	20.7	18.8	18.7	8.3	3.4	4.5
【性別】										
男性 (n=248)	64.9	45.2	40.7	33.9	19.4	14.1	18.1	8.1	3.2	3.2
女性 (n=272)	57.7	46.0	36.8	34.9	21.3	23.2	20.2	9.6	3.7	5.1
【年齢別】										
20代以下 (n=36)	63.9	61.1	19.4	36.1	13.9	13.9	27.8	11.1	2.8	0.0
30代 (n=46)	47.8	69.6	32.6	39.1	13.0	30.4	21.7	13.0	8.7	4.3
40代 (n=65)	61.5	64.6	32.3	38.5	20.0	32.3	29.2	21.5	3.1	1.5
50代 (n=82)	69.5	40.2	20.7	35.4	23.2	23.2	22.0	8.5	3.7	6.1
60代 (n=97)	61.9	54.6	47.4	38.1	23.7	14.4	23.7	7.2	3.1	5.2
70代以上 (n=222)	60.8	31.5	47.3	29.7	21.2	14.0	10.4	3.6	2.7	5.0
【居住地域別】										
金光地区 (n=173)	60.7	55.5	42.2	37.6	17.9	19.7	15.6	4.6	3.5	4.0
鴨方地区 (n=283)	61.8	41.7	37.5	33.6	21.9	19.4	19.8	11.3	3.5	4.9
寄島地区 (n=83)	61.4	34.9	34.9	28.9	21.7	15.7	21.7	6.0	3.6	4.8

6. 浅口市のこれまでの取り組みについて

1 (問16) 「第2次浅口市総合計画・前期基本計画」の施策の重要度 (平均点比較)

○「重視している」を5点、「やや重視している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視していない」を2点、「重視していない」を1点とした平均点(重要度)は、以下のとおりです。

○<みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実>が 4.09 点と最も高く、<治山・治水などの防災対策の推進>(4.07 点)や<安全を確保する防災体制の整備>(4.05 点)といった防災関連の項目が続いています。全体の平均点は、3.69 点です。



重要度（年齢別・上位5項目）

【20代以下】

1	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	4.11
2	安心して産み育てることができる子育て支援の充実	3.97
3	安全を確保する防災体制の整備	3.94
	治山・治水などの防災対策の推進	
5	豊かな人生を育む生涯学習の充実	3.89

【30代】

1	安心して産み育てることができる子育て支援の充実	4.34
2	治山・治水などの防災対策の推進	4.27
3	生活安全対策の推進	4.23
4	安全を確保する防災体制の整備	4.21
5	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	4.20

【40代】

1	安心して産み育てることができる子育て支援の充実	4.10
2	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	4.08
3	治山・治水などの防災対策の推進	4.03
4	幼児教育・学校教育の充実	4.02
5	安全を確保する防災体制の整備	3.94

【50代】

1	治山・治水などの防災対策の推進	4.05
2	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	4.04
3	安全を確保する防災体制の整備	4.02
4	生きがいを持って暮らせる高齢者福祉の充実	3.86
	生活安全対策の推進	

【60代】

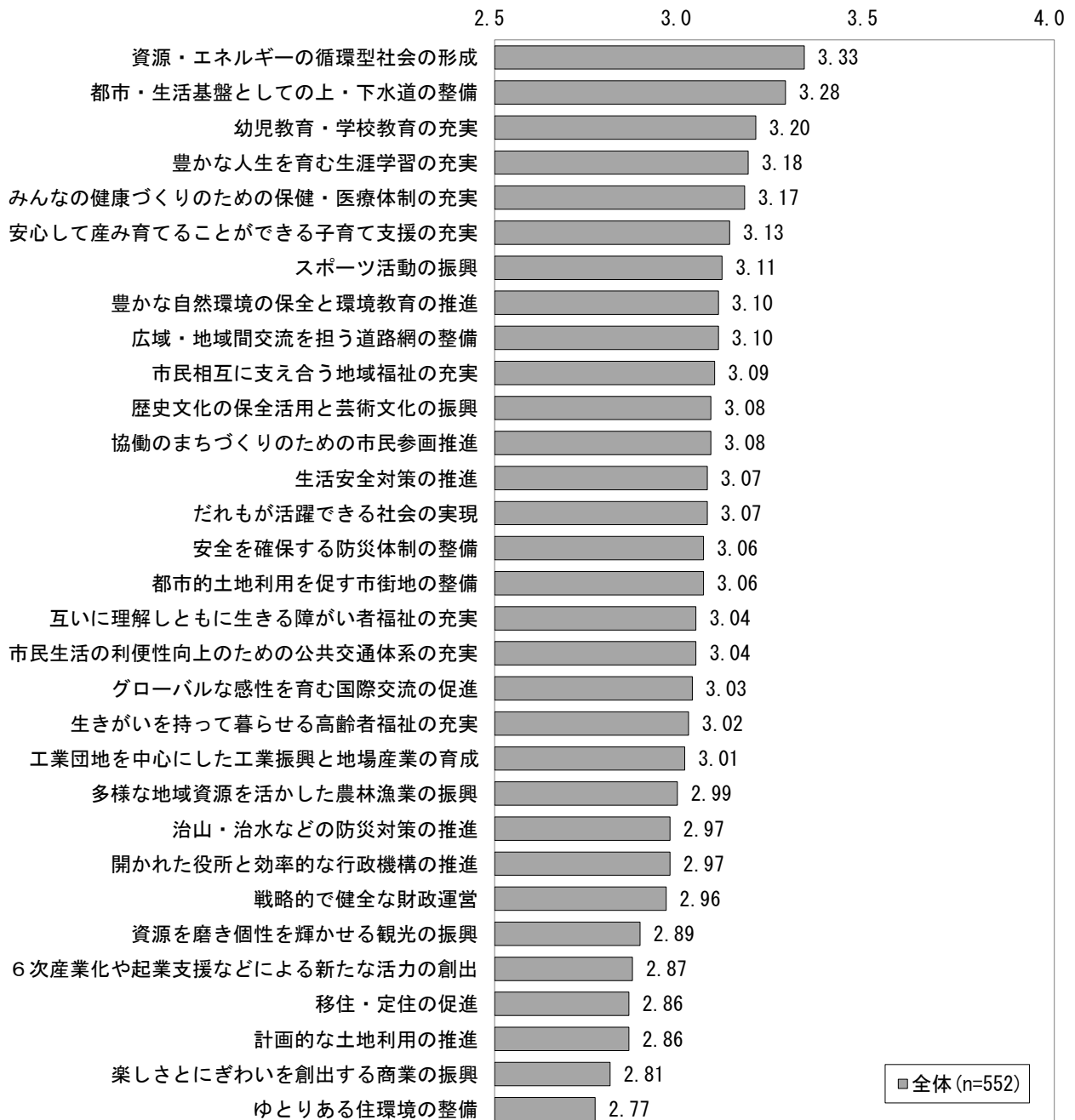
1	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	4.17
2	治山・治水などの防災対策の推進	4.09
3	安全を確保する防災体制の整備	4.03
4	生活安全対策の推進	4.01
5	生きがいを持って暮らせる高齢者福祉の充実	4.00

【70代以上】

1	資源・エネルギーの循環型社会の形成	4.10
2	安全を確保する防災体制の整備	4.09
	生活安全対策の推進	
4	治山・治水などの防災対策の推進	4.06
5	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	4.05

2 (問16) 「第2次浅口市総合計画・前期基本計画」の施策の満足度(平均点比較)

- 「満足している」を5点、「やや満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満である」を2点、「不満である」を1点とした平均点(満足度)は、以下のとおりです。
- <資源・エネルギーの循環型社会の形成>が 3.33 点と最も高く、<都市・生活基盤としての上・下水道の整備>が 3.28 点、<幼児教育・学校教育の充実>が 3.20 点と続いています。
- 全体の平均点は、3.04 点です。



満足度（年齢別・上位5項目）

【20代以下】

1	都市・生活基盤としての上・下水道の整備	3.34
2	幼児教育・学校教育の充実	3.26
	広域・地域間交流を担う道路網の整備	
4	協働のまちづくりのための市民参画推進	3.24
5	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	3.20

【30代】

1	資源・エネルギーの循環型社会の形成	3.19
2	歴史文化の保全活用と芸術文化の振興	3.17
3	スポーツ活動の振興	3.16
4	市民相互に支え合う地域福祉の充実	3.14
	安心して産み育てることができる子育て支援の充実	

【40代】

1	資源・エネルギーの循環型社会の形成	3.29
2	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	3.26
3	幼児教育・学校教育の充実	3.24
	都市・生活基盤としての上・下水道の整備	
5	安心して産み育てることができる子育て支援の充実	3.21

【50代】

1	資源・エネルギーの循環型社会の形成	3.21
2	安心して産み育てることができる子育て支援の充実	3.14
	都市・生活基盤としての上・下水道の整備	
4	幼児教育・学校教育の充実	3.12
5	豊かな自然環境の保全と環境教育の推進	3.11

【60代】

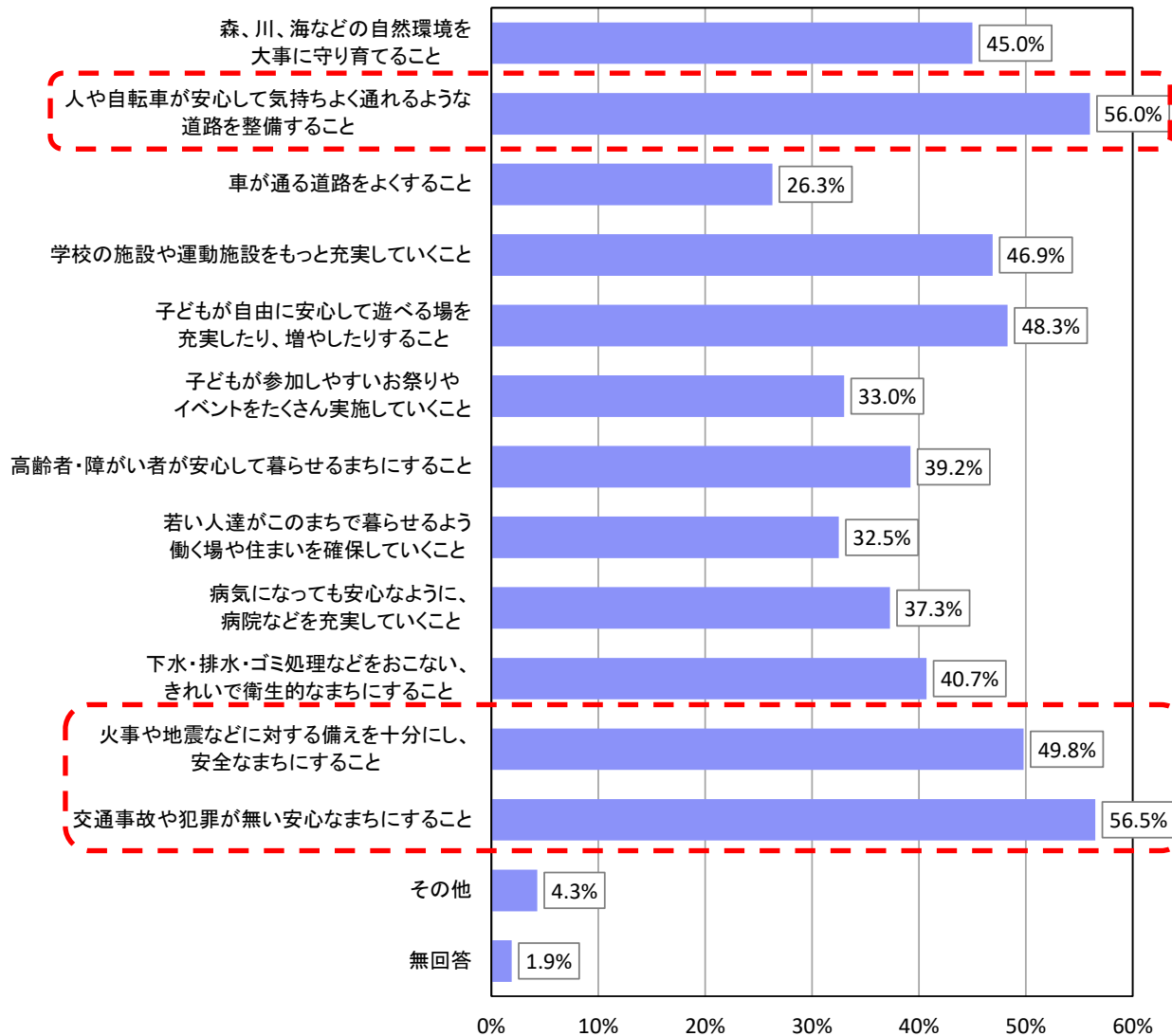
1	資源・エネルギーの循環型社会の形成	3.46
2	豊かな人生を育む生涯学習の充実	3.22
	都市・生活基盤としての上・下水道の整備	
4	幼児教育・学校教育の充実	3.21
5	豊かな自然環境の保全と環境教育の推進	3.15
	都市的土地利用を促す市街地の整備	

【70代以上】

1	都市・生活基盤としての上・下水道の整備	3.47
2	資源・エネルギーの循環型社会の形成	3.39
3	みんなの健康づくりのための保健・医療体制の充実	3.31
4	豊かな人生を育む生涯学習の充実	3.27
5	幼児教育・学校教育の充実	3.26

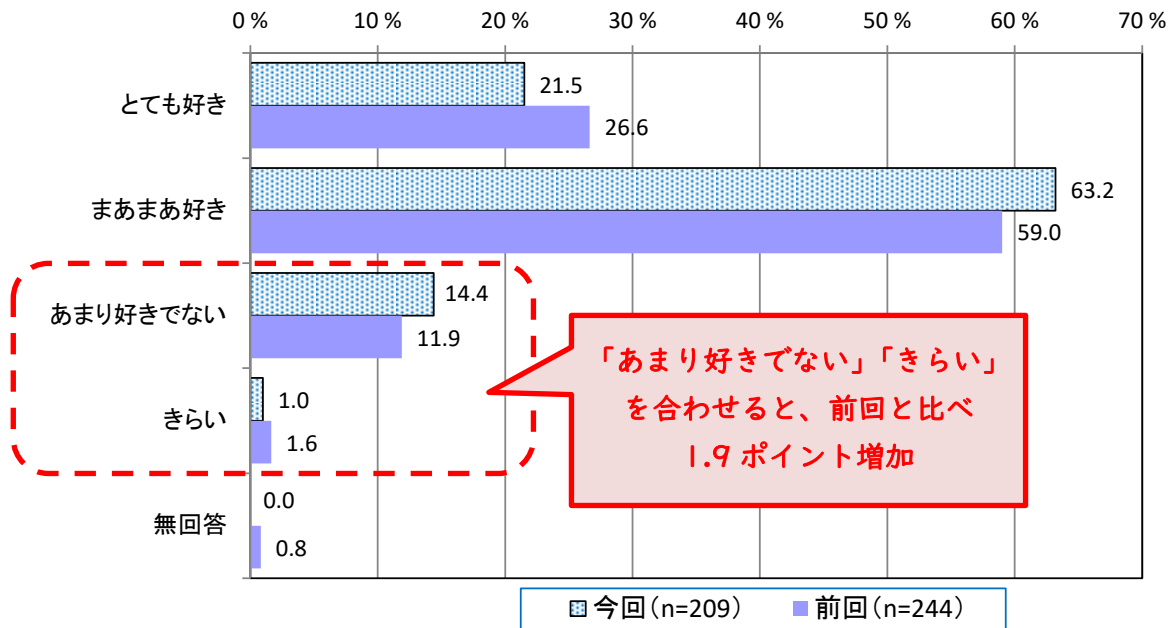
IV 浅口市の未来を担う中学生アンケート調査結果概要

I (問4) 浅口市をもっとよくするために必要だと思うこと (MA)



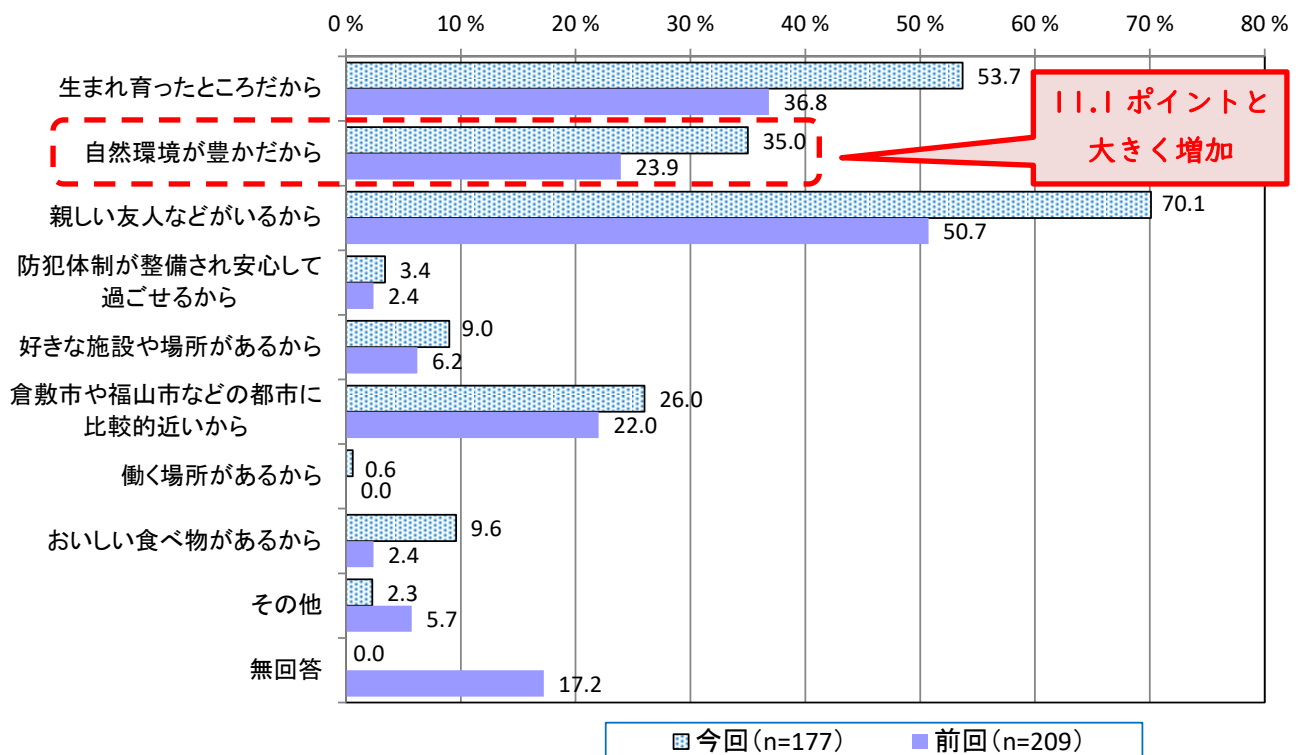
(n=209)

2 (問5) 浅口市が好きか(SA)

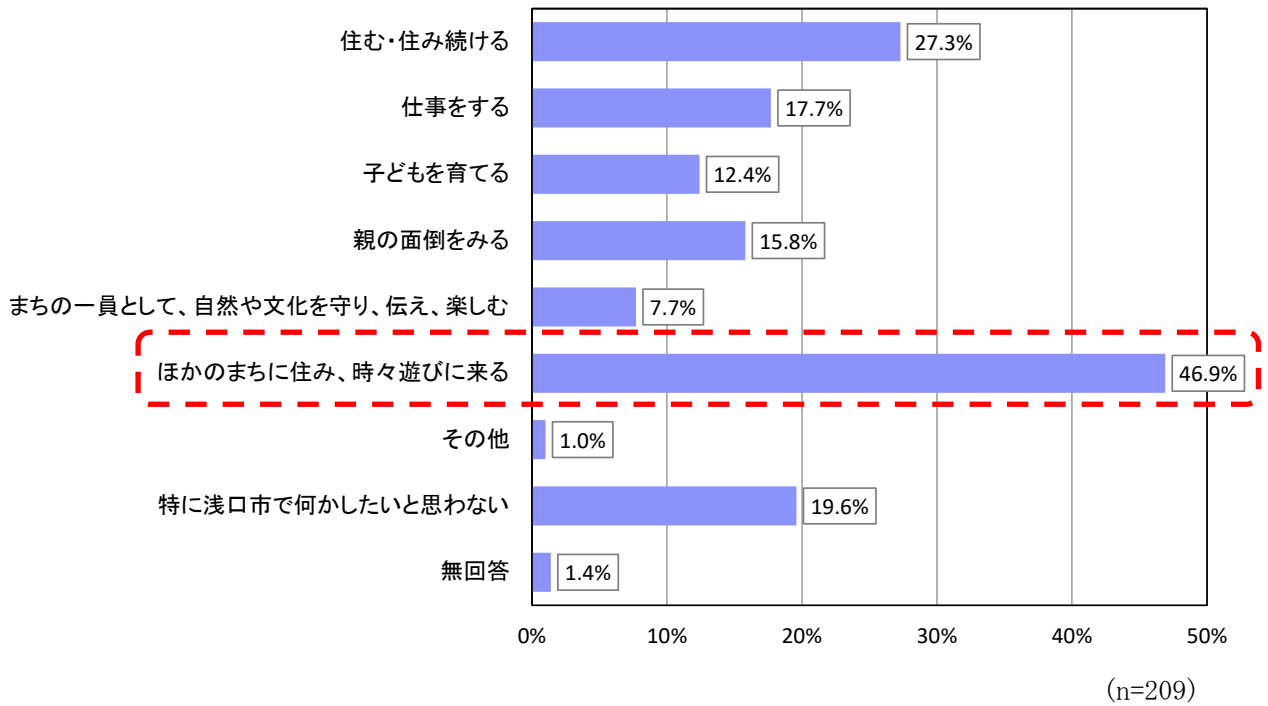


3 (問5-A) 浅口市が好きな理由(MA)

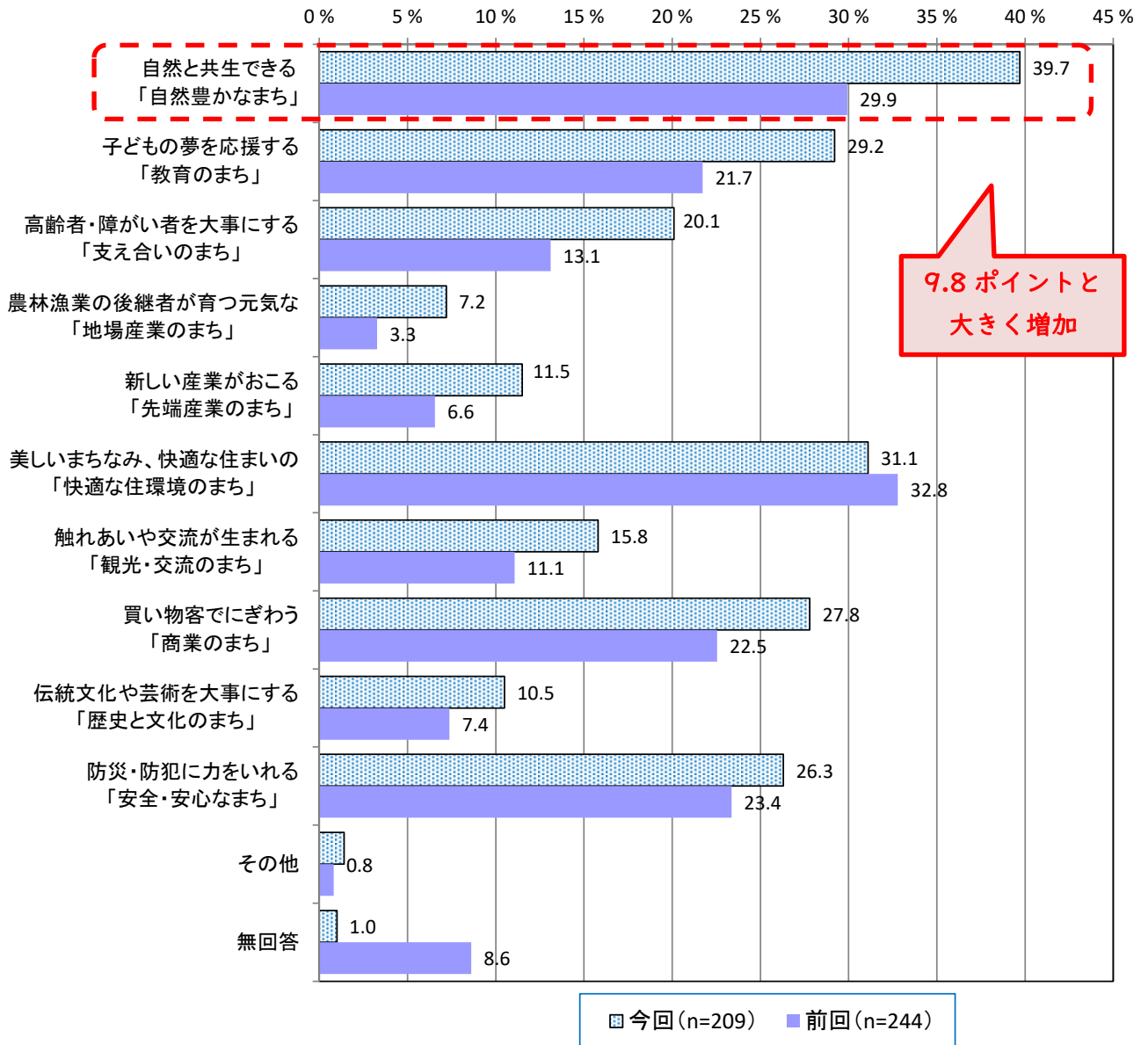
【問5】で「とても好き」「まあまあ好き」と回答した人限定



4 (問7) 大人になったら、浅口市で何をしたいか (MA)



5 (問8) 浅口市がどんなまちづくりを目指したらいいか(MA)



6 (問9) 新型コロナウイルス感染症の拡大で、困っていること・不安なこと(MA)

